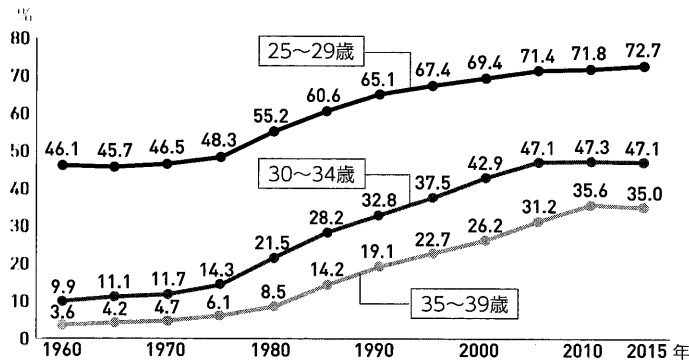
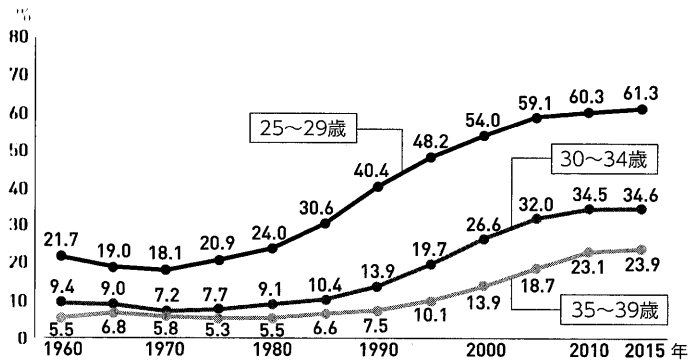


◆未婚率

図表1 ■ 年齢別未婚率の推移 (男性)



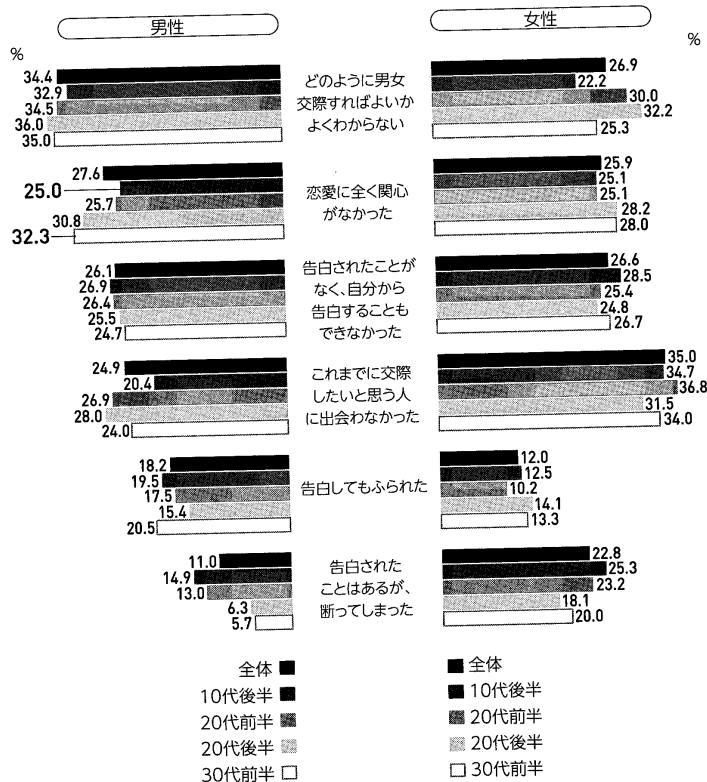
図表2 ■ 年齢別未婚率の推移 (女性)



出典：図表1・2ともに総務省「国勢調査」をもとに作成

◆交際経験がない理由

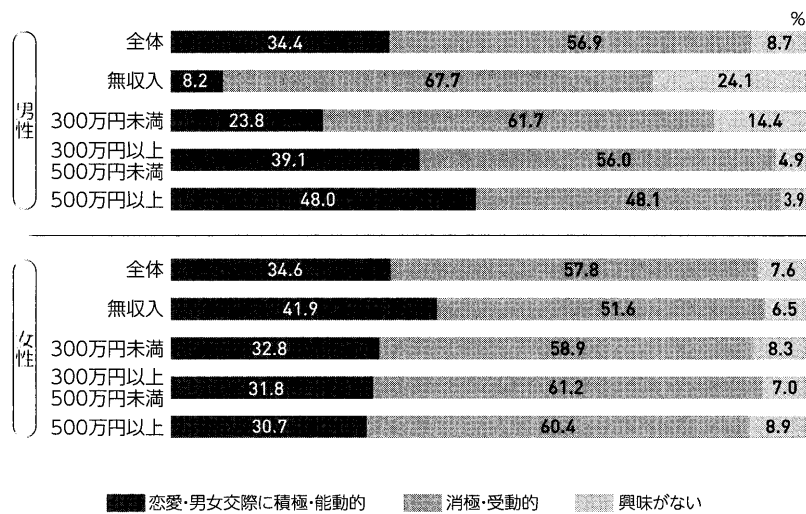
図表1-3 ■ 交際経験がない理由 (交際経験がない15~34歳の未婚者：複数回答)



恋愛に興味なし、が3割。「どのように男女交際すればよいかわからない」と大きく変わらない割合。

◆男女交際へのスタンス

図表1-16 ■恋愛・男女交際へのスタンス（20～34歳の社会人：年収別）



収入があるほど、男は積極的だが、女性は逆。

◆恋人ではないが2人で会えるような仲

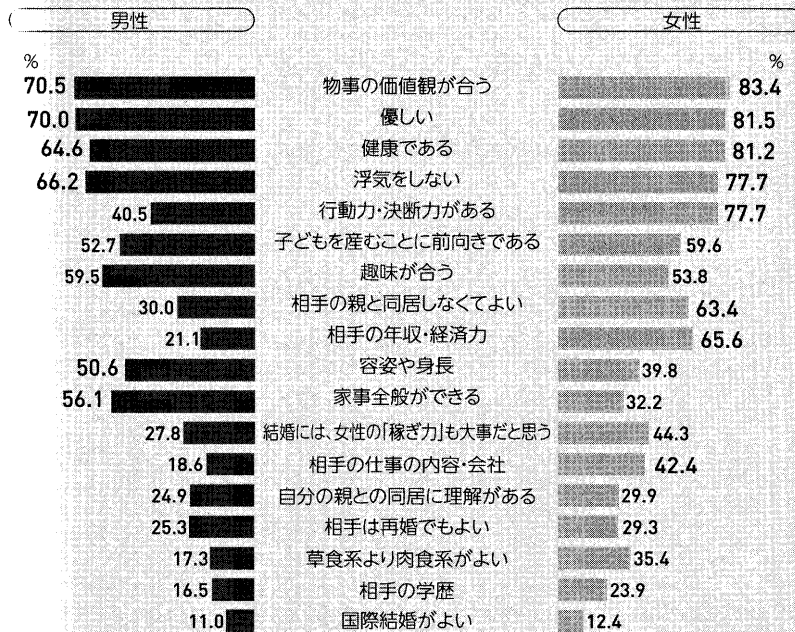
15～34歳の未婚者に、恋人ではないが2人で会えるような仲の良い異性の友人はいるかたずねたところ、「いる」（「1人だけいる」＋「複数人いる」）と回答した割合は、20代後半と30代前半では男女ともに約4割となっていました。

◆出会い

20～34歳の社会人に、恋人や結婚相手と出会うために、どのような活動をしているか（していたか）をたずねたところ、積極・能動的な人や消極・受動的な人の活動内容としては、「友人に紹介を依頼」「合コン」「学生時代（クラス・サークル等）の知人で探す」「SNS」が多いようです。

◆結婚相手への条件

図表 2-10 ■ 結婚相手として重視したい条件（20～39歳の未婚者）



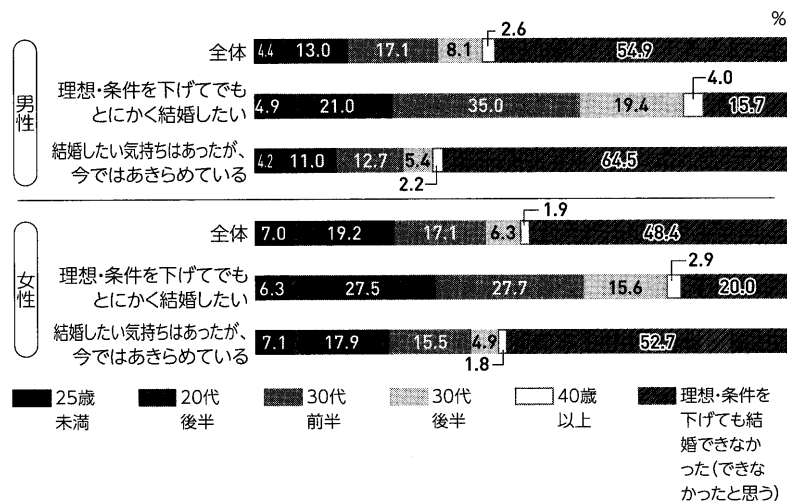
出典：明治安田生活福祉研究所「第9回結婚・出産に関する調査」（2016年）

女性の求めること（60%以上）

- ・物事の価値観が合う
- ・優しい
- ・健康である
- ・浮気をしない
- ・行動力・決断力がある
- ・相手の年収・経済力
- ・相手の親と同居しなくてよい

◆条件を下げる

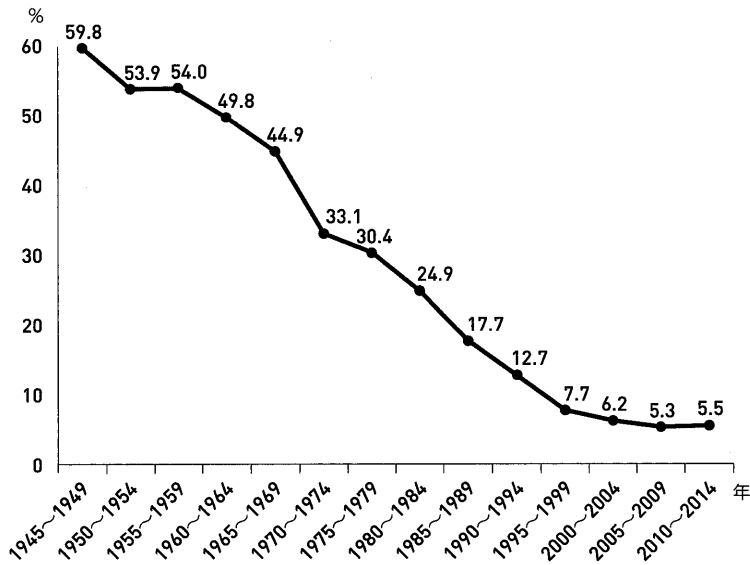
図表 3-23 ■ 何歳頃に理想・条件を下げておくべきだったと考えているか（35～54歳の未婚者：結婚に対する気持ち別）



また、結婚したい気持ちはあったが今ではあきらめている人では、「理想・条件を下げてでも結婚できなかった（できなかったと思う）」と考えている人の割合が男女とも最も高くなっています（男性 64.5%・女性 52.7%）。

◆お見合い

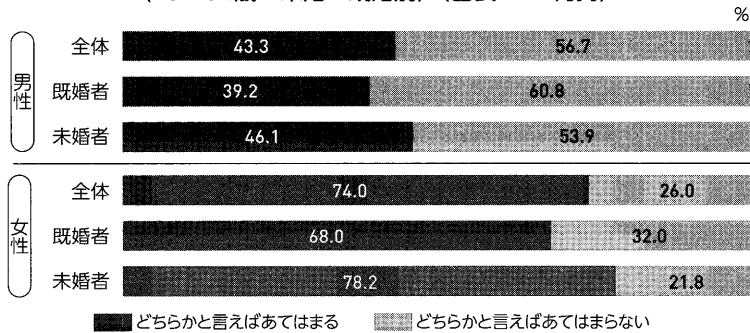
図表 4-8 ■ お見合い結婚割合の推移（結婚年次別）



出典：国立社会保障・人口問題研究所「第15回出生動向基本調査」

◆相手の学歴、収入

図表 4-12 ■ 自分と同等かそれ以上の学歴・収入等の異性と結婚したいか（25~34歳：未婚・既婚別）（図表1-44再掲）

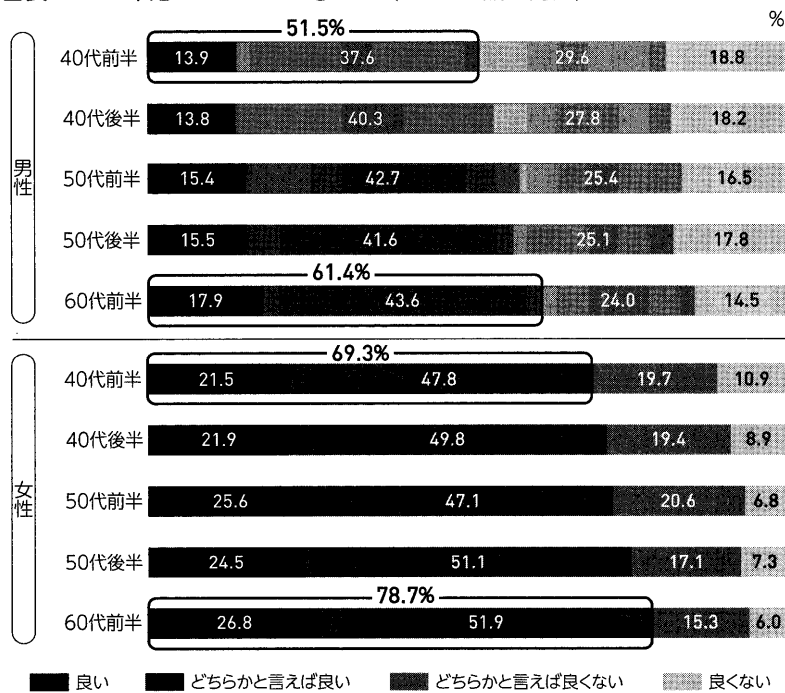


出典：明治安田生活福祉研究所「男女交際・結婚に関する意識調査」（2017年）

35~54歳の既婚女性にとっても、最も妥協しなかった結婚相手の条件は収入等の経済力でした。
 また、未婚アラサー男性は独身でいる理由に家族を養うほどの収入がない点を挙げる人も多いようです。

◆卒婚

図表6-2 ■ 卒婚についてどう思うか（40～64歳の男女）



出典：明治安田生活福祉研究所「人生100年時代に向けた意識調査」(2018年)

~~~~~

卒婚とは、婚姻関係を継続したまま夫婦が生活を別にする事です。夫婦関係を解消しない点が、離婚との大きな違いです。卒婚を考える人は圧倒的に女性です。一方、男性はあまり卒婚や熟年離婚を考えていないケースが多いようです

~~~~~

◆結婚のメリット

精神的安定が得られること

経済的に安定すること

好きな相手と共に暮らせること

老後の安心が得られること

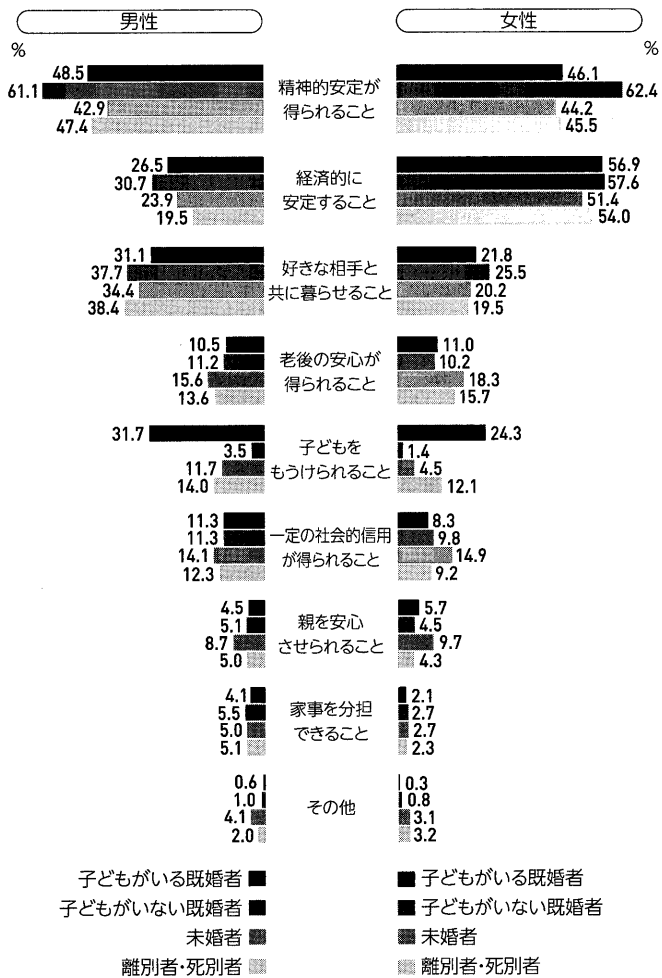
子どもをもうけられること

一定の社会的信用が得られること

親を安心させられること

家事を分担できること

図表6-6 ■結婚のメリット（40～64歳の男女：未婚・既婚別：複数回答）



出典：明治安田生活福祉研究所「人生100年時代に向けた意識調査」（2018年）